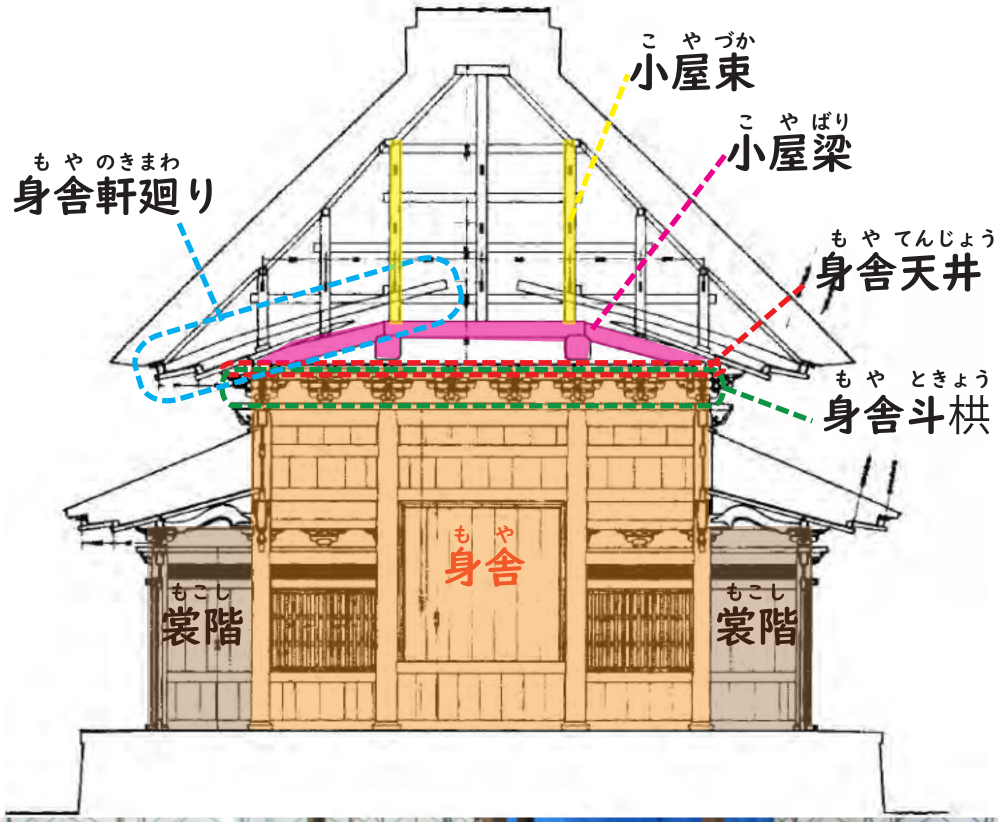
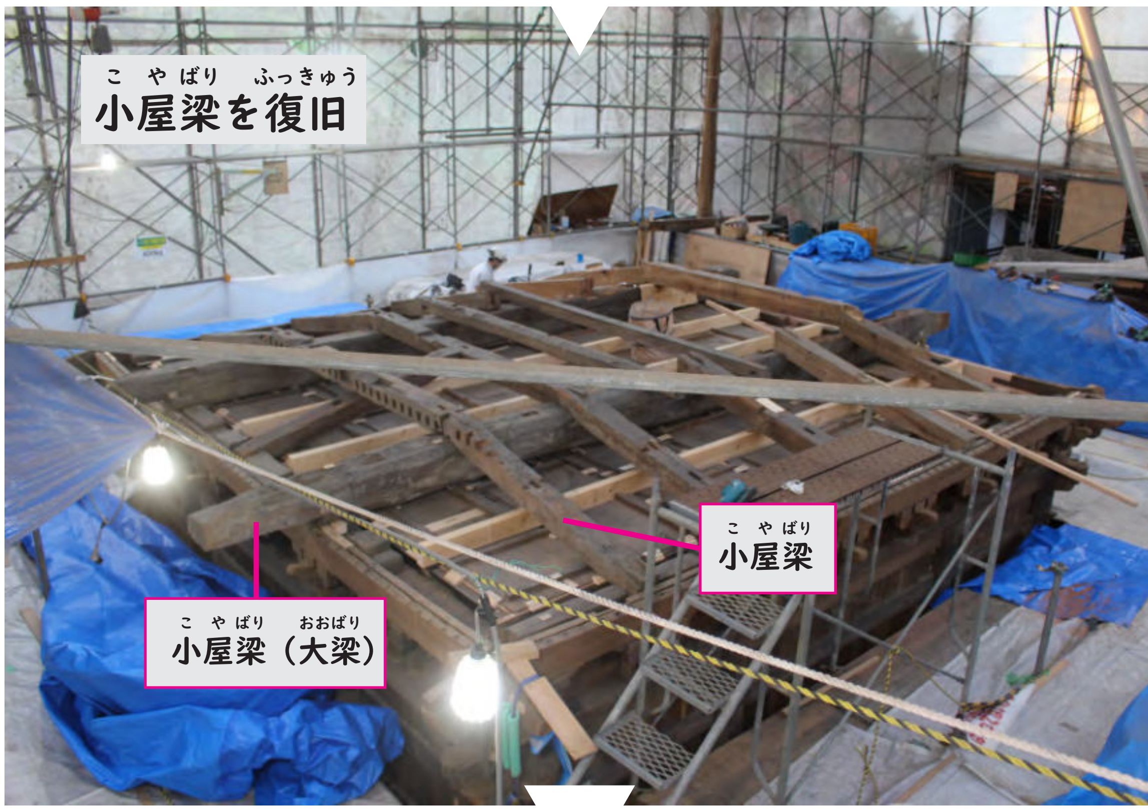
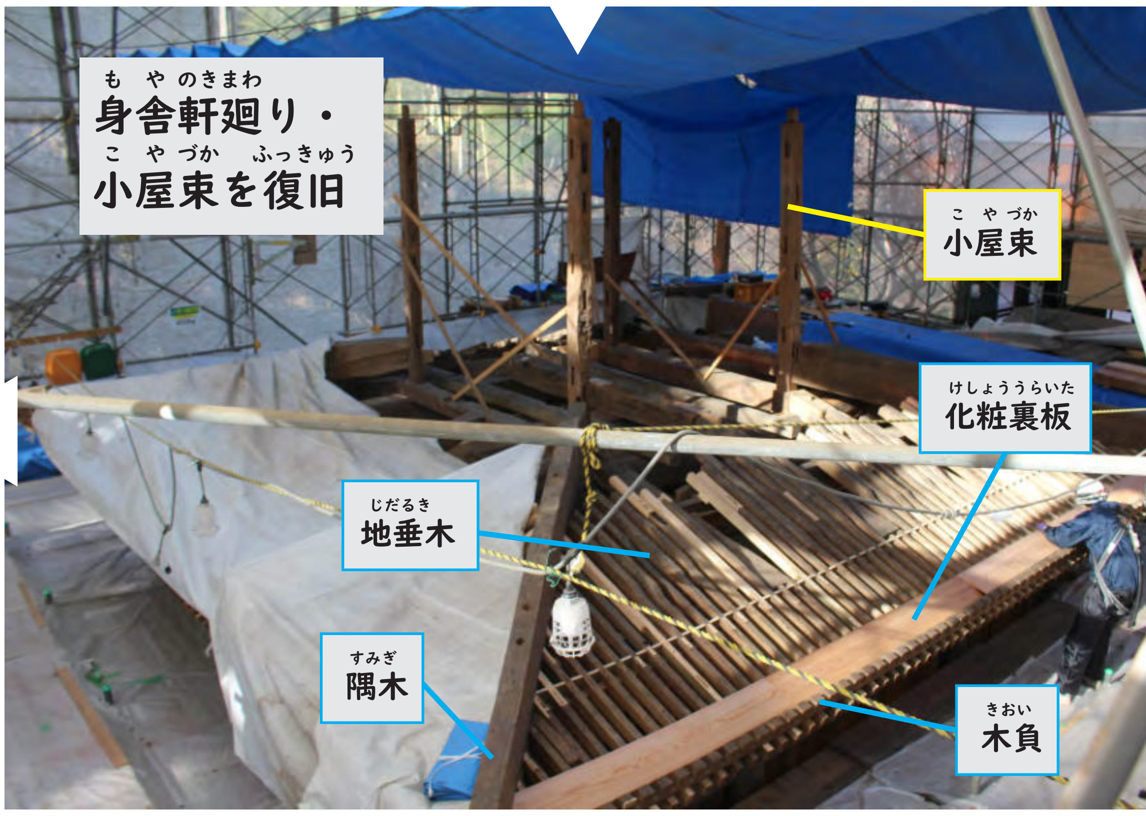
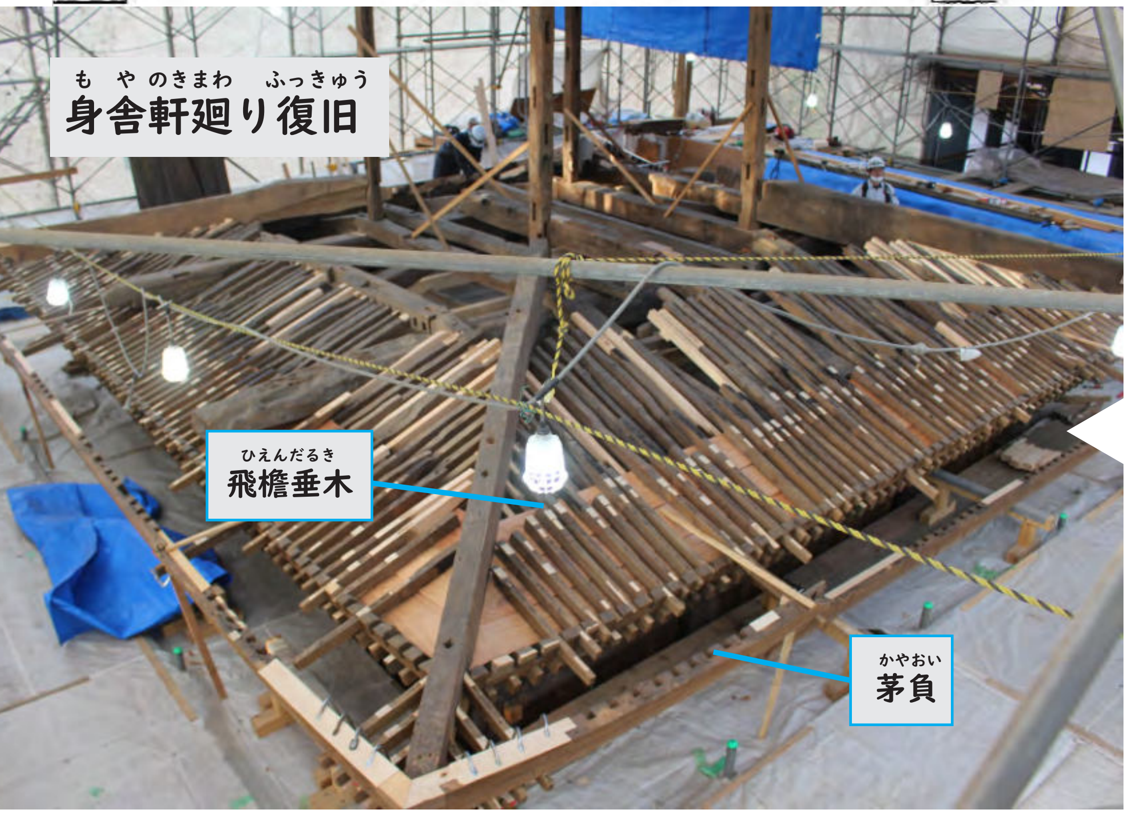
工事の現場より

１月２週目

令和２年度より半解体修理を始めた旧東慶寺仏殿では、解体しながら傷みや劣化の具合を調べ、補修・補強方針が検討されました。現在それに基づいて補修や補強が行われ、建物が元の形に戻るよう順次組立が行われています。外した部材を戻すだけといっても、各部材は長年適切な力だけでなく不適切な方向の力も受けていたので、歪みや捻じれが生じてしまっているものもあります。それらを整えながら戻していく作業は、ひとつずつ手探り、時間のかかる仕事です。

▲全ての解体が完了した時点

途中経過省略